

公益財団法人日本スポーツ協会個人情報の取扱いに関する外部委託管理規程

第1章 総則

(目的)

第1条 この規程は、公益財団法人日本スポーツ協会（以下「本会」という。）が保有する個人情報の取扱いを第三者に委託する場合につき、本会個人情報保護方針および個人情報保護規程に基づく基本規程であり、適正な保護を実現することを目的とする。

(適用範囲)

第2条 本規程は、個人情報の取扱いを外部に委託する場合に適用する。

第2章 外部委託の手続

(個人情報保護管理者の承認)

第3条 個人情報の取扱いを第三者に委託する場合は、委託作業責任者は、事前に委託先、個人情報の内容、利用目的等を記載のうえ、個人情報保護管理者の承認を得るものとする。

2 個人情報保護管理者は、前項の承認をするに際し、次の各号に定める事項その他委託先の個人情報の管理体制につき調査を行い、所定の水準に達していると認められなければ、個人情報の取扱いの委託を承認してはならない。

- (1) 本会個人情報保護コンプライアンス・プログラムの内容を実現する組織及び体制の有無
- (2) プライバシーマークの取得、その他これに準ずる認証の有無

(秘密保持契約の締結)

第4条 前条による個人情報保護管理者の承認に基づき、個人情報の取扱いを委託する場合には、事前に、秘密保持契約又はこれに準ずる契約を締結しなければならない。

2 委託先との契約の際に、本会が指定する「秘密保持契約書」を用いない場合は、当該契約書には原則として次の各号に定める内容を記載するものとする。

- (1) 委託する個人情報の内容、範囲、利用目的、委託先における利用態様及び委託処理期間
- (2) 委託する個人情報に関する秘密保持義務の遵守に関する事項
- (3) 委託する個人情報の安全管理体制に関する事項
- (4) 委託する個人情報の複製及び複写に関する事項
- (5) 委託する個人情報の取扱いの再委託に関する事項
- (6) 委託終了時における個人情報の返還及び廃棄に関する事項
- (7) 委託先における個人情報保護に関する教育・研修に関する事項
- (8) 本会からの監査の受入及び報告に関する事項
- (9) 委託する個人情報の漏えい、その他事故が発生した場合における措置及び責任分担に関する事項

3 個人情報保護管理者は、本条に基づき作成された秘密保持契約その他の文書を、合理的な期間保管するものとする。

第3章 委託先に対する監督

(委託先に対する監督)

第5条 個人情報保護管理者は、必要に応じて委託先について契約違反の有無を調査し、監督するものとする。

- 2 個人情報保護管理者は、委託先において契約に違反し又は違反するおそれのあることを発見したときは、直ちに必要な措置を講じなければならない。
- 3 委託作業責任者は、委託期間中、委託先における個人情報の取扱い状況を調査し、契約に違反し又は違反するおそれのあることを発見したときは、直ちに、その旨を個人情報保護管理者に通知しなければならない。
- 4 個人情報保護管理者は、前項の通知を受けた場合、直ちに必要な措置を講じなければならない。

第4章 雑則

(見直し)

第6条 会長は、適切な個人情報の保護を維持するために、定期的に本規程の改廃を個人情報保護管理者に指示するものとする。

附則1

- 1 本規程は、平成17年3月22日から施行する。

附則2

- 1 本規程は、平成18年12月21日から施行する。

附則3

- 1 本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日(平成23年4月1日)から施行する。

附則4

- 1 本規程は、平成30年4月1日から施行する。